

# こうち+クロス

高知赤十字病院  
広報誌

ご自由にお持ち帰りください



特集1:令和6年能登半島地震における救護活動報告[2月]  
特集2:形成外科・再建外科のご案内

## 高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

## 高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

## 受診される皆様へ

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 平等かつ適切な医療を受ける権利
- 個人の人権が尊重される権利
- プライバシーが保障される権利
- セカンドオピニオンを受ける権利
- 医療上の情報及び説明を受ける権利
- 医療行為を選択する権利

## 私たちからのお願い

- ご自身の健康に関する詳細な情報を医師をはじめとする医療提供者にお知らせください。
- 治療や検査等は、理解し、納得したうえでお受けください。分からないこと等は、ご遠慮なく医師をはじめとする医療提供者にお問い合わせください。
- 病院内では他人の迷惑にならないようお願いいたします。
- 暴言・暴力行為があった場合、診療をお断りすることがあります。
- 医療費の支払い請求には、速やかな対応をお願いいたします。
- その他、より快適な入院生活をお過ごしいただくために、病院内の約束事についてはご協力をお願いいたします。

# 令和6年能登半島地震における救護活動報告「2月」

当院では石川県能登半島地震への救護活動として1月に3チーム派遣しましたが、2月も継続して活動を行い、救護班、コーディネートチームだけでなく、四国こころのケアチーム、被災地域の病院支援看護師を派遣しましたので、活動内容をご報告します。

なお、3月以降も心のケアを中心に活動を継続します。

## 出発式



コーディネートチーム



救護班

## 活動報告

### 医療機関支援

期間：2月5日(月)～12日(月)

構成：看護師1名(当院看護師含む12名)

被災医療機関支援のため石川県の市立輪島病院へ赤十字病院を含む全国の病院の看護師の1人として参加させていただきました。震災から1カ月以上が経っていましたが、水道、下水共に復旧の目処が経っていない状況であり、患者さんは十分な清潔ケアが行えず、食事モレルト中心の入院生活が続いていました。病院職員も多くが被災されており、一部の方は病院で寝泊まりをしながら勤務を続けていました。少しでも早い復興を祈っております。



市立輪島病院



ミーティング風景



入院患者さんの対応風景

### 四国こころのケアチーム

期間：2月2日(金)～8日(木)

構成：看護師1名(当院看護師含む4名)

2月3日から2月7日までの5日間、能登中部にある志賀町でこころのケア活動を行いました。

志賀町には、31箇所の避難所があり、厳しい寒さが続くなか、2名～200名程度の方が避難生活を送られていました。発災から1ヶ月経ったとはいえ、「ずっと揺れている感じがする。怖い」「頭から離れない」



志賀町の避難所を巡回中

「家は潰れた、これからどうやっていったらいいのか」「眠れない。勝手に涙が出る」などという言葉が聞かれました。今回の活動を通してこちらのケアはまだまだ必要であると実感しました。



避難者との対応



ミーティング風景

## 日赤災害医療コーディネートチーム第2班

期間：2月15日(木)～20日(火)

構成：医師1名・業務調整員2名(診療放射線技師1名・事務1名)

私たちは令和6年能登半島地震において、石川県珠洲市保健医療福祉調整本部で災害医療コーディネートチーム第2班として活動してきました。高知県支部からは1月に石川県庁で活動した第1班につづいての派遣となりました。珠洲市は今回の地震の震源地であり、半数以上の家屋が倒壊した最も被害の大きい地域です。上下水道の復旧はまだほとんどできておらず、避難所生活を余儀なくされている方が多数いらっしゃいました。発災から二ヶ月が経過し医療ニーズは減少しても、避難所の環境改善やこちらのケアなどまだまだ日赤の支援はつづきます。一日も早い現地の復興をお祈り申し上げます。



本部での業務調整員の活動風景



活動内容の引継を受ける医師



避難所巡回の報告を受ける業務調整員

## 日赤救護班第2班

期間：2月22日(木)～26日(月)

構成：医師1名、看護師3名、薬剤師1名、主事4名(臨床心理士1名・事務3名)

私たちは令和6年能登半島地震における災害救護活動を七尾市で行いました。チーム一丸となって、巡回訪問やこちらのケアを主に行ないました。発災から約2ヶ月が経とうとしており医療インフラはかなり整いつつある中で、日赤の避難所への巡回診療が3月上旬をもって終了することを各避難所にお伝えすることも今回のミッションでしたが、多くの方々から本当にありがとうございましたと感謝のお言葉を沢山頂きました。多くの日赤の方々のご尽力があってこそのお言葉であると痛感いたしました。引き続きの支援は必須であり、保健師へ引継を行って活動を終了しました。1日も早い能登の復興を心よりお祈りいたします。



引継を受ける救護班



巡回診療中の風景



巡回診療中の風景

# 形成外科・再建外科のご案内



吉井 聡佳

柏木 圭介

坂本 恵子

## 形成外科・再建外科とは？

形成外科・再建外科は「身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質(Quality of Life)の向上に貢献する、外科系の専門領域」です。(日形会HPより)。

## 当科の特徴・強み

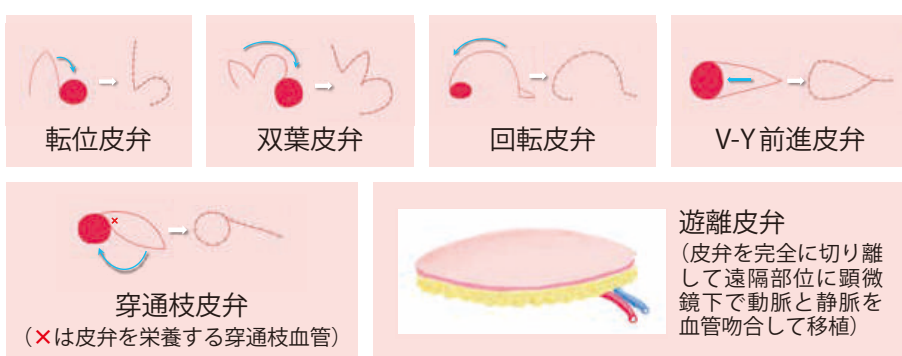
外科、整形外科、耳鼻咽喉科等、他の診療科の手術に参加し、さまざまな再建手術を手掛けています。女性医師が2名在籍しており、女性が安心して受診しやすい診療科です。



## 皮弁の実際

形成外科が行う皮弁による再建法にはいろいろな種類があり、症例に応じて使い分けています。

(右図の●は腫瘍切除後や外傷後などに生じた皮膚欠損)



## 主な対象疾患

形成外科は頭から足の先まで全身を治療対象とします。その中でも当科で多く扱っている疾患について御紹介します。

### ■皮膚悪性腫瘍

当科では皮膚癌全般を専門的に治療しています。腫瘍切除術、リンパ節郭清術、術後の薬物療法や放射線療法までの治療を当院で一貫して行います。また腫瘍の拡大切除により生じた組織欠損を、植皮や皮弁を用いて再建する手術も行います。



#### 鼻尖部基底細胞癌

- (1) 腫瘍切除と皮弁のデザイン。
- (2) 手術直後の状態。皮弁aおよび皮弁bがそれぞれ移動して腫瘍切除後の皮膚欠損を補填している。
- (3) 術後半年。鼻の形の左右対称性が概ね保たれている。



(1)

(2)



(3)



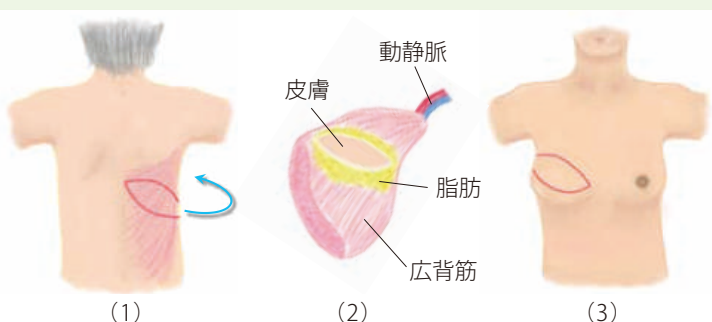
#### 踵部悪性黒色腫

- (1) 腫瘍切除と皮弁のデザイン。
- (2) 手術直後の状態。癌切除後の皮膚軟部組織欠損を内側足底皮弁(つちふまず皮弁)で再建している。
- (3) 術後1年。踵を着けた歩行ができています。

### ■乳房再建

外科による乳房切除後の再建治療を当科が担っています。患者さんの希望に応じて、背部や腹部等の自家組織を用いた乳房再建、もしくはシリコンインプラントを用いた乳房再建を行っています。また、切除と同時に行う一次再建、切除手術とは別の時機に行う二次再建のいずれにも対応します。また希望者には乳頭乳輪再建も行います。

乳房再建は保険適用されています。当院では2021年度以降、再建手術を受ける方が増加しています。



(1)

(2)

(3)

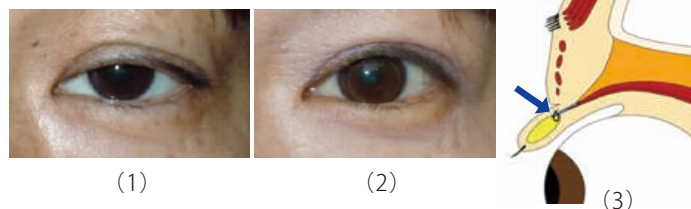
#### 広背筋皮弁による乳房再建

- (1) 背部に皮膚切開を加えて広背筋皮弁を採取し、動静脈がつながったまま皮下トンネルを通して乳房欠損部へ移植する。
- (2) 広背筋皮弁のシエマ。皮膚、脂肪、筋肉の複合体である。
- (3) 術後の状態。広背筋皮弁が再建乳房内に収まっている。

### ■眼瞼下垂症

加齢やハードコンタクトレンズの長期使用などが原因で起こる眼瞼下垂症に対し、上眼瞼挙筋を短縮することで開きやすくする手術などを行っています。

その他、睫毛内反(さかまつ毛)、下眼瞼外反症、眼瞼周囲に発生した良性腫瘍や癌なども当科で治療します。



(1)

(2)

(3)

(日形会HPより転用)

#### 眼瞼下垂症の修正

- (1) 術前。上まぶたが瞳孔にかかっている。
- (2) 術後半年。上まぶたが瞳孔を遮らなくなり、視野が改善した。
- (3) 手術のシエマ。上眼瞼挙筋腱膜を前方に引き出して瞼板に縫い付けている(青矢印)。

悪性腫瘍、乳房再建、眼瞼下垂症のほか、皮膚の良性腫瘍、こどもの先天異常、顔面神経麻痺、顔面外傷、熱傷など、形成外科領域全般を取り扱っています。お気軽にご相談ください。

形成外科  
ホームページ  
詳しくはこちらから



# 第59回高知赤十字病院医学会開催

学会事務局 医療情報管理課 福嶋 妙子

令和6年1月20日(土)当院4階ホールにて「第59回高知赤十字病院医学会」が開催されました。学会長は谷田信行院長、世話人は医局長の宮崎かつし耳鼻咽喉科部長です。

今回のテーマは「コロナの先の新しい医療を創造しよう！」で、参加者は院内外あわせて137名でした。

発表演題は33演題が集まり、卒後3年目看護師によるケースレポート発表、多職種による様々な取り組みや課題の発表があり、発表後は活発な意見交換が行われました。

特別講演は高知工科大学 経済・マネジメント学群教授 那須清吾先生をお迎えし「DXと課題の構造化」と題し、ご講演いただきました。

仕事の効率化に対する問題と課題の解決に向けて、問題解決の方策とDX活用方法等の手がかりを得ることが出来たのではないかと思います。

また、今回で12回目となった「Resident Presentation Award」では、研修医10名が発表しました。例年どおり「スライド」「発表」「内容」「質疑応答」の4項目での審査の結果、優秀演題として、



那須先生



## 第1位 橋口 真里 医師

「DICによる全身紫斑のため紅斑が判別できなかったが、病歴から診断し得た日本紅斑熱の一例」

## 第2位 赤尾 玲実 医師

「植え込み型除細動器挿入患者にアドバンス・ケア・プランニングを実施し、除細動機能を停止した一例」

## 第3位 林 かなほ 医師

「活性型ビタミンD3製剤と酸化マグネシウム製剤の内服によりミルクアルカリ症候群をきたした一例」



赤尾

橋口

林

が選ばれました。

今年度は、初の試みとして各種学会で発表されたポスターを展示させていただきました。たいへん好評につき、来年度も多くのポスターを展示し職員皆さんの功績をアピールできる場として盛り上げていきたいと思っております。ポスター発表された方はぜひ院内学会での展示にもご協力よろしくをお願いいたします。(ポスターは大切に保管しておいてくださいね！)

最後になりましたが、ご参加ご協力いただきました皆様本当にありがとうございました。



国際細胞検査士  
筒井 宏行

病理診断科部に所属し、臨床検査技師として10年目を迎えた私は、2023年6月24日に国際細胞検査士という資格を取得しました。高知赤十字病院では私で3人目となります。世界では約11万人がこの資格を取得しており、その約半数以上が日本人です。細胞検査士とは？国際がつくと何がかわるのか？なぜこのような資格を取得する

に至ったのか、この場を借りて紹介したいと思います。

細胞検査士は、臨床検査技師が所有できる日本臨床細胞学会が認定した資格の1つです。日本に約8000名おり、当院の細胞検査士は私を含めて病理診断科部で5名(水野、小原、安岡、和田、筒井)、検査部で3名(弘内、栗下、大原)、計8名になります。細胞検査士は、腹水などの検体中に出現する細胞を顕微鏡で観察し、細胞の良悪を判断する細胞診に従事しています。日本人の死因第1位である「がん」をいち早く発見するために、細胞診は重要な役割を担っており、日々やりがいを感じています。今回取得した国際細胞検査士(cytotechnologist : CT)は、

国際細胞学会(IAC)が認定する、日本国外で細胞検査士として活躍するために必要な資格です。日本臨床細胞学会が認定した細胞検査士の資格を有し、受験直前まで3年間継続して細胞検査士として働いている者に受験資格が与えられます。国際細胞検査士の資格試験は、国内では2年に1度実施されますが、新型コロナウイルスの感染拡大により4年ぶりに日本で実施されました。

受験のきっかけとなったのは、病理診断科部で行われる月1回の英文抄読会です。その中で国際細胞検査士の方々の論文に刺激を受け、現代のグローバル社会において日本国内だけでなく、日本国外からの情報にも広くアンテナを張らなければならないと感じ、今回の資格取得を考えました。

国際細胞検査士になることで、「がん」の早期発見と正確な診断に役立つ情報や知識の獲得に努め、自分からも情報を発信することで、国内外で活躍出来ればと考えています。

そして、「がん」で亡くなる患者様が1人でも少なくなるよう、赤十字病院の職員として貢献していきたいと考えています。



## 高知赤十字病院においてコージェネ大賞を受賞



高知赤十字病院は、建物の老朽化や災害時の浸水被害が想定されていたため、2019年に新築・移転しました。新築・移転に伴い高知赤十字病院では、エネルギーサービス事業者である高砂熱学工業と連携し、設備導入費用を抑制するとともに、光熱水費を低減するためにコージェネ設備を含む各種省エネルギー技術を積極的に導入しました。

コージェネ設備は、発電を行いながら機器の排熱から温水を作ることができる設備です。そのため平時は光熱水費の低減を目的に運用し、災害時は電力供給と温水供給を継続することで病院機能維持が可能となります。またコージェネ設備はエネルギー効率が高いため、病院のエネルギー使用量の削減にも効果を発揮しています。

さらに高知赤十字病院は2024年5月で移転後5年目を向かえますが、省エネ対策委員会等を通じて病院関係者が一丸となって省エネルギー活動を続けてきた結果、現在でも開院当初のエネルギー使用量を維持し、光熱水費の低減を継続できています。このような取り組みにより、この度コージェネ大賞を受賞することができました。

今後も、関係者の皆様のご協力を頂きながら、災害に強く、環境にやさしい建物を目指して活動を続けてまいります。



コージェネ大賞受賞



省エネ対策委員会

# CAFE CROSS

## ★ 研修医一年目のご紹介 ★

## RESIDENT INFORMATION



おかもと れいな  
**岡本 滢奈** (高知大学卒)

### 医師を志したきっかけは？

高校の生物の授業がきっかけです。「こんな複雑なことが実際に自分の身体でも起こっているのか…！」と驚き関心を持ちました。



### これが好き♡

海鮮を食べるのが大好きです！初めて高知を訪れ、鯉の薫焼きを塩たたきで食べた時は流石に感動しました。おいしい海鮮のお店をご存知の方は、どんどん教えていただきたいです！



### 私、スゴイんです♪

身体が柔らかいことです。生まれつきの体質もありますが、小学生の頃バレエを習っていたお陰もあると思います。



### 研修への意気込みをひとこと★

右も左もわからない未熟者ではありますが、常に素直に学ぶ姿勢を持って励んでいきたいと思えます。一日も早く仕事を覚えてみなさまのお役に立てるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



おおつ なな  
**大津 奈那** (高知大学卒)



### 医師を志したきっかけは？

中・高校生の時に音楽系の部活に所属しており、病院や老人ホームでよくコンサートをしていました。その時に、患者さまから涙ながらの感謝の言葉をいただきました。この経験から、『直接人と関わりたい』『役に立ちたい』という思いが強くなり、医師を志すようになりました。



### これが好き♡

実家に2匹のトイプードルがいます。今は家を離れて暮らしているのですが毎日会えませんが、実家に帰ったときには、一緒に遊んだりお昼寝をするのが大好きです。



### 私、スゴイんです♪

大学生の時に、小型船舶と水上バイクの免許を取得しました。毎年夏には、この免許を使って船を出し、家族でわいわいとキス釣りを楽しんでいます。



### 研修への意気込みをひとこと★

まだまだ未熟で至らぬ点多くあると思いますが、1日でも早く皆様のお役に立てるよう日々努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

# 特定行為看護師が誕生

## 特定行為区分：術中麻酔管理パッケージ



手術室  
石黒 亜也子

令和5年度に術中麻酔管理パッケージの特定行為研修を修了しました。手術室では先に湯田平師長(文章作成時係長)が修了していただきましたので、湯田平師長のアドバイスや指導のもと学習方法やレポート内容、演習などを修了しました。勉強内容は大変難しかったのですが今まで以上に深く学ぶことができ、よい機会

になったと思っています。現在は指導医のもと、バイタルサインが落ち着いたら指示書を書いてもらい手術中の麻酔管理を行っています。その間、麻酔医は並列で麻酔を行ったり、翌日の術前説明を行ったり、病棟回診を行います。

患者さんは全身麻酔がかかっているわけですから、もちろん痛いことや不快な

ことを訴えることができません。その痛みや有害事象に対してバイタルサインから見極めなければならず、責任の重さを日々感じていますが新たな仕事は楽しくもあります。まだまだ未熟者ですが、よろしくお願い致します。最後に、勉強時間を確保して頂いた手術室スタッフに感謝を申し上げます。



### 指導医

山下 幸一 医師  
山崎 浩史 医師  
西森久美子 医師  
柴田やよい 医師  
藤本 枝里 医師

## 検査室からのお知らせ



- 採血受付機 7:30～  
1F再来受付機で受付を  
すませてから  
受付へお越しください
- 採血開始 8:10～



24

入院の方は受付機で受付できません  
24番受付へお声かけください

## 採血・生体検査の受付の流れ

1. 受付機の赤い光にバーコードをかざすと、「採血番号」・「採尿カップ」が発行されます

採尿は採血室となりのトイレで採尿後、奥の小窓に提出してください

2. 採血は入口上部のモニターに表示された番号の方まで、採血室に入ってお待ちください

3. 採血の順番が来ましたら、採血台に「採血番号」が表示されます  
番号の表示された採血台で「採血番号」と「検査案内表」を提出してください

### 生体検査 (心電図・超音波・聴力・肺機能・脳波・神経)

\* 8:30までは、24番受付前の番号札をとってお待ちください

1. 24番受付で検査受付が必要です
2. 受付後、生体検査待合に入りお待ちください  
順番にお呼びいたします

\* 検査の内容によって、検査の順番は前後いたします

# 患者さま用 Wi-Fi 利用エリアについてのご案内



患者さま用 Wi-Fi の利用エリアについて、外来待合エリア、健診エリア、病棟デイコーナーエリアに加え、**病室でも利用できるように** 変更いたしましたのでお知らせいたします。

接続方法の詳細は病棟デイコーナーに掲示しております。

## 新入職員紹介 (同意の方のみ掲載)

(令和6年1月1日～令和6年4月1日)

氏名  
職種・所属  
● 趣味・特技  
● 抱負  
● 地域の先生にひとこと (医師のみ)



**谷田 美都理** たにだ みつり  
医師(消化器内科)

● パイナップル栽培にチャレンジしています。

● 私は大学を卒業後、高知県の山間部で地域医療に従事していました。患者さまのかかりつけ医となれるよう努めてまいりましたが、その中でも内視鏡診療に興味を持ち、消化器内科で勤務させていただくこととなりました。一年間という短い期間ではございますが、学んだことを地域の皆様に還元できるよう励んでまいりますので、何卒よろしくお申し上げます。

● 医師としてまだまだ未熟ではございますが、地域の先生方のお力をお借りしつつ、高知の医療の発展に貢献できるよう努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



**加納 将嗣** かのう まさし  
医師(整形外科)

● 読書、映画鑑賞。  
● 患者さんの痛みを軽減し、健康で快適な生活を取り戻すため、経験と情熱をもって最善の治療を提供するべく頑張ります。

● 2024年4月から赴任させていただきます。現在研修中の身であり、手術の研鑽に励んでおります。外傷の手術を中心として、患者さんの満足感に貢献できるよう誠心誠意、努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



**増島 信也** ますじま しんや  
医師(整形外科)

● 趣味：ゴルフ、MLB。特技：大食い、早食い。  
● 患者さん、医療スタッフの方々

両方から信頼される医師を目指して頑張りたいと思います。

● 整形外科疾患について手術適応などご紹介いただければと存じます。また、当院での術後通所リハビリ等でご治療いただくことも多

いと思いますので、何卒よろしくお申し上げます。



**平岡 桃** ひらおか もも  
初期研修医(診療科部)

● 趣味はカフェ巡りで、高知県内だけでなく、県外のカフェにも足を運んでいます。特技はバスケットボールで、中学1年生から始め今月1・2回程度ですが続けています。

● 何事にも積極的に挑戦していきたいです。これからの研修では、今までの学座では学べなかったことを沢山経験できると思うので、それらをどんどん吸収して、医師として、また人としても成長していけるよう頑張ります。

● この度、高知赤十字病院で初期研修医として働くこととなりました。平岡 桃です。初めのうちは慣れないことも多く、たくさんご迷惑をお掛けすることになると思いますが、自分の生まれ育ったこの高知県の医療に少しでも貢献していけるよう精進いたしますので、ご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



**戸梶 智耀** とかじ ちあき  
初期研修医(診療科部)

● 散歩と神社仏閣巡りが趣味です。気分転換をしたい時や考え事がある時に散歩をし、初めての道を歩いたり、途中で新しいお店を見つけたりする事で気分をリフレッシュする事が好きです。また、旅行の際に神社仏閣を巡り、その場の雰囲気を楽しんだり、御朱印集めを楽しんでいます。

● 新しい環境に不安もありますが、初期研修医の2年間でできるだけ多くのことを学び、知識や技術を身につけたいと考えています。チーム医療の一員として貢献できるよう、先生方や看護師、コメディカルの皆さん、そして患者さんと積極的にコミュニケーションを取り、日々成長していきたいです。

● 生まれ育った地元、高知県で初期研修医として医療者の一員になれることを嬉しく思うとともに、身が引き締まる思いです。まだ右も左も分からない未熟者ですが、患者さんに寄り添った医療を提供できるよう、精進していく所存です。そのために、多くの経験を通して、医師として必要な知識や技術、心構えなどを学んでいきたいと考えています。よろしくお願いたします。



**岸野 俊介** きのの しゅんすけ  
初期研修医(診療科部)

● 趣味：プロ野球観戦(東京ヤクルトスワローズ)、昆虫採集・標本作成(ゲンゴロウ、クワガタムシなど)。特技：やり投げ(大学時代の陸上競技部で6年間取り組みました)。

● 早くみなさまのお役に立てるように、前向きな気持ちで日々の研修に励みたいと思っております。ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

● 私は高校卒業までを神奈川県で過ごし、大学入学を機に高知に移り住みました。今年で7年目になり、第二の故郷のように感じております。1日でも早く高知県の医療に貢献し、恩返しができるよう、日々精進してまいります。よろしくお願いいたします。



**山本 菜桜** やまもと なほ  
社会福祉士(地域医療連携課)

● 美味しいご飯を食べることが好きなので、よく SNS でご飯屋さんを調べています。自分の車

を持つようになったら、行きたかったご飯屋さんを制覇していくことが一番の楽しみです。

● 患者さんと御家族が安心して療養できるよう、気持ちに歩み寄ってともに最善を考えられる MSW を目指します。院内外の関係者の皆さんからたくさん学びを得ながら、向上心を大切に、日々成長できるよう努めてまいります。



**畑山 咲季** はたやま さき  
看護師(5階東病棟)

● 特技はバスケットボールです。小学校4年生から大学3年生までの12年間、バスケットボール部に所属していました。

● 経験から、あきらめないことの大切さやチームワークの重要性などを学び、自己成長につながったと感じています。

● 私は、人に誠実に向きあうことを大切にしています。高知赤十字病院の職員として理念や基本方針に基づいた行動をし、向上心を持ち続け努力することで、知識と根拠に基づいて看護を提供し、患者さんに寄り添うことが出来る看護師を目指します。



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society



高知家健康パスポート事業  
ポイント付与対象事業

高知新聞企業医療公開講座

# 高知赤十字病院 医療公開講座

参加無料 定員60名

令和6年

7/13(土)

事前申込制



高知県民文化ホール第6多目的室

13:30~15:00

日々の診療に携わる医師より、最先端の診断と治療についてわかりやすくお話をさせていただきます。  
お気軽にご参加ください。

## 講演 1

13:40~14:10

### 「形成外科のしごと」

高知赤十字病院 形成外科部長

柏木 圭介



## 講演 2

14:20~14:50

### 「元気で長生き糖尿病」

高知赤十字病院 診療部長 兼

第二内科部長 有井 薫



お申し込み・  
お問い合わせ

高知新聞企業 セミナー係 ☎088-825-4110

高知市本町3丁目3-39(高知放送南館5階)

(平日 9:30~17:30)

※感染防止対策(マスク着用等)にご協力ください。  
駐車場はありません。公共交通機関、近隣の有料  
駐車場をご利用ください。

## 令和6年度 初期臨床研修医のご紹介



今後1年間にわたって  
「CAFÉ CROSS」コーナ  
にて先生方をご紹介  
させていただきます!



令和6年4月1日に、11名の初期臨床研修医が  
入職しました。

当院は、国家試験に合格した新医師(研修医)が2  
年間の研修を行う「臨床研修病院」です。

臨床研修では、医師としての人格形成はもちろん、  
将来専門とする分野に関わらず、医学及び医療の  
果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療  
において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応  
できるよう、基本的な診療能力を身につけることを  
目標として、指導医や多職種の職員の指導のもと  
に研修を行います。

そのため、研修医が外来や病棟において皆さまの  
診療をさせていただくことがありますので、ご理解  
・ご協力を賜りますようお願いいたします。

## 当院の臨床研修の理念・基本方針

### 理 念

幅広いプライマリ・ケアへの対応能力の習得と医療チームのリー  
ダーとしての人格を持ち、地域社会の中でも愛され、親しまれ、信  
頼される医師を目指すものとする。

### 基本方針

- ①患者様の症状、身体所見等に基づいた診断、初期治療を的確に  
行える能力を身につける。
- ②チーム医療の一員であることを理解し、他の職種と協調・協力  
する姿勢を身につける。
- ③患者様中心の医療を行い、患者様及び患者家族との十分な信頼  
関係を築ける能力を身につける。
- ④急性期医療を理解し、患者様を全人的に診る能力を身につける。
- ⑤地域連携を理解し、地域の医療従事者と円滑な連携を行う能力  
を身につけるとし、各研修医は、理念及び基本方針を目指して、  
日々研鑽を積むものとする。

JAPAN SOCIETY FOR  
HEALTH CARE  
MANAGEMENT



第20回

高知県支部学術集会  
日本医療マネジメント学会

会期

2024年8月25日(日)

開演 8:50(開場8:30) 終演 16:10

会場

高知市文化プラザ かるぽーと  
1階 大ホール 11階大講義室

会長

谷田 信行 高知赤十字病院 院長

特別講演

公立能登総合病院  
脳神経外科部長 圓角 文英 先生

参加対象

医療関係者  
(医師、歯科医師、薬剤師、看護師などすべての  
メディカルスタッフと医療学生、医療関係企業など)



【演題募集期間】2024年4月26日(金)~6月7日(金)

第20回 日本医療マネジメント学会高知県支部学術集会事務局

高知赤十字病院 医療情報管理課

〒780-8562 高知県高知市秦南町一丁目4番63-11号

TEL 088-822-1201(代表) FAX 088-822-1056

E-mail [management@kochi-med.jrc.or.jp](mailto:management@kochi-med.jrc.or.jp)

後援

高知県・高知市・高知県医師会・高知市医師会・高知県歯科医師会・高知県看護協会・高知県理学療法士協会  
高知県作業療法士会・高知県言語聴覚士会・高知県薬剤師会・NHK高知放送局・高知さんさんテレビ  
テレビ高知・高知新聞社・RKC高知放送・高知県医療ソーシャルワーカー協会・高知県診療放射線技師会  
高知県病院薬剤師会・高知県臨床検査技師会

<https://kochi-med.jrc.or.jp/jhm20/>



高知赤十字病院  
ホームページ

<https://www.kochi-med.jrc.or.jp/>



高知赤十字病院  
Facebook

<https://www.facebook.com/krch.kouhou/>



よろしければ  
フォロー登録  
お願いします



皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。  
本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。  
(088-822-1201 (代表))

